

## 平成31年2月臨時会報告

今議会は、(株)山口井筒屋宇部店の閉店に伴い本物件の暫定的な利活用のための予算を確保するため、宇部市一般会計の補正をするための議案を審議するために招集されたものです。

2月19日に(株)井筒屋による宇部商工会議所への宇部店の不動産（土地、建物等）売却決定に伴い、本物件を宇部市へ無償貸し付けをし、宇部市において24か月間、暫定的な利活用を図ろうとする補正予算案である。その内容は、産直マルシェを中心に、キッズスペース、まちなかブックコーナー、レストスペース、若者交流スペースなどを設け、中心市街地ににぎわい創出につながる暫定的な利活用をするものです。

また、2019年度において、市は中心市街地活性化基本計画を策定し、その後の利活用についてまとめていこうとするものである。

商工会議所においては、2021年度に井筒屋宇部支店を解体し、2022年度から建設工事を開始し、2023年10月から供用開始を考えておられ、想定する利活用計画は今から策定される予定です。

ゴールデンウィークまでには暫定的な利用を図っていきたいということで、全会一致をもって、議会で可決されました。

新政会としては、井筒屋の跡地問題にとどまらず、中心市街地の活性化という観点を重点に考え実行していただくようお願いするとともに必要な人員、予算など、しっかりとした体制を組んで実施してもらうように下記のとおり賛成討論をしました。結果、全員一致で可決されました。

議案第40号 平成30年度宇部市一般会計補正予算（第3回）について、新政会を代表し、賛成討論を行います。

本議案は、旧山口井筒屋宇部支店を商工会議所から無償で借り受け、にぎわい創出につながる施設として、中心市街地活性化の実証も踏まえ暫定的に活用するための予算措置であり、レッドキャベツも撤退し、少しでも活力の低下を防ぐための当面の処置であり理解をいたします。出展内容に関しては、工夫の余地があるのではないかと考えられるので、今後、市民の利用者の意見を聞きながら、充実を図っていただくよう要望いたします。

また、将来的な利活用への支援も求められ、その方針については、まだまだ検討しなければならない事項がたくさんあります。

当然、この計画は商工会議所にとって、持続可能な計画でなければならないと同時に市やまちづくり会社にとっては、中心市街地の賑わい創出のための計画でなければなりません。

したがって、井筒屋の跡地利用にかかわる計画だけではなく、周辺地域も含めた計画でなければならないと考えるために市としては、中心市街地活性化基本計画を策定されるということですが、多くの市民が納得のいく準備周到な計画とすべく、必要な時間と労力をかけていただき、最善な計画としていただくよう要望して賛成討論といたします。